

平成23年度会務中間報告



平成23年度 日本弁理士クラブ 事業計画

平成23年度日本弁理士クラブ幹事長
樺澤 聡

はじめに

まず、このたびの東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

平成23年2月1日に任期が始まり、既に8か月が経過しておりますが、任期が満了するまで、幹事長としての重責を果たすため微力ながら全力を尽くしますので、会員の先生方に、ご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します。

今回の東日本大震災では、未曾有の被害が発生し、日本弁理士会としても対応しなければならない多くの問題が発生することも予想されます。日本弁理士クラブ（日弁）では、それらに対するバックアップが必要と思われます。この地震により、現実に被災された方のみならず、原発事故などに伴い計画停電を含む電力の使用制限など電力事情も悪化して経済、産業界も大きな打撃となっており、弁理士の果たす役割を真剣に考える機会が与えられたものと思います。

日弁では、政策委員会を中心にそのような観点も含め、短期、中長期ビジョンの検討を進めていきます。そして、日弁内のみならず、日本弁理士会、ひいては国民のためになるような施策を提案したいと考えます。そこで、会員の先生方からの積極的な提言や、アドバイスをお待ちしております。

今年度の事業計画及び活動方針

1. 奥山尚一会長を、日弁の総力を結集して、政策などを含め全面的にバックアップする。

本年度は、日本弁理士クラブとして日本弁理士会に送り出している奥山尚一会長の1年目の任期になります。

奥山執行部の政策を実現させるため、日本弁理士クラブの総力を結集して、全面的にバックアップすることを第1の活動方針としています。

会員の皆様方の奥山執行部へのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

2. 積極的な政策提言、財政を見直し、常に会長選挙に臨めるような基盤を形成し、節度ある強い会派とする。

昨年日本弁理士会役員選挙以降、会員数が略9千人になり、全会員の半数以上を占める無会派層にもアピールする選挙運動の重要性が高まり、従前以上に選挙に労力と、資金がかかるようになってきています。日本弁理士クラブとしては、常に十分な選挙運動を行えるだけの財政基盤を準備しておく必要があると思います。

また、単に財政基盤を確保しているのみでは十分ではなく、従来よりさらに将来を見据えた積極的な政策提言をする必要もあり、常に国民視線に立った節度ある意見の提言をしておかなければなりません。

そのため、奥山執行部と連携して政策及び方向を考えるとともに、財政の見直しも必要になります。ご理解とご協力をお願いいたします。

3. 無会派層に対して、日弁の存在をアピールし、日弁会員および親派の増員を図り、会員から必要とされる日弁にする。

増加の一途をたどる無会派層を当クラブの会員として勧誘できることに越したことはありませんが、勤務弁理士や企業弁理士の比率も高く、直ぐには望めない現実があります。

そこで、日本弁理士クラブの存在をアピールし、日本弁理士クラブの親派の増員をはかる必要があります。

本年度はその一貫として、日本弁理士クラブのメルマガとして「日弁メルマガ」を再開し、日本弁理士クラブの親派の増員を図ります。

内容は、日本弁理士クラブ、或いは、日本弁理士

クラブを構成している、春秋会、P A会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブの各会派が実施している、研修会、就職懇談会、口述練習会などの案内をメインに考えています。

日本弁理士クラブの会員の先生でも、登録されていらっしゃる先生がいらっしゃいますので、この機会にぜひ登録ください。詳細につきましては、日弁ホームページをご参照ください。

4. その他

さらには、奥山執行部に協力し、日本弁理士会会員全体から必要とされる日弁にしたいと考えます。

面白いアイデアがあればお知らせ下さい。

近況報告

本年度幹事会は、4月26日の総会で承認いただきました事業計画と予算に従って、活動を進めております。

1. 政策委員会

水野勝文委員長のもと、各派幹事長または代表と、各派政策担当の協力の元日本弁理士会宛に、3月に『地震義援金に関する ご意見お伺いのお願い』、7月に『弁理士法見直し項目』2つの意見を提出しました。

2. メルマガ

伊東忠重副幹事長が担当し、林篤史ホームページ委員長をはじめ各委員の努力により、5月に再開したのち20通を超えるメルマガを発行し、日弁及び各会派の紹介、日弁及び各派の研修の案内および旅行会などについて掲載しております。

3. 旅行会

旅行会は6月18日・19日に、木戸良彦副幹事長が担当して、岐阜長良川温泉「岐阜グランドホテル」で開催し、鵜飼船に乗船して鵜飼を見ながらの夕食としました。研修は奥山会長を講師としてお迎えして好評でした。

翌日のゴルフ大会は、香原修也副幹事長が担当し、愛知県春日井市にある「オールドレイクゴルフ倶楽

部」で無事開催致しました。賞品は「飛騨牛」と地元の歴史ある明宝ハムの逸品で好評でした。

4. 研修

鈴木俊之副幹事長が担当し、小西恵研修委員長及び各委員が精力的にそれぞれ準備及び各回毎に受付及び資料配布などを担当し、特定侵害訴訟代理業務試験対策研修を行っております。

7月から8月にかけて弁護士石神恒太郎先生が講師をされて5回シリーズで過去問解析講座を、9月には弁護士坂田洋一先生が講師をされて3回シリーズで答案練習会を行っております。

受験者のみなさまの合格に貢献できれば幸いです。

5. その他

以上のところに名前こそ出ておりませんが、一切の庶務及び幹事長の手助けなど表面からは必ずしも見えない最も重要な裏方では石橋良規副幹事長、また、それぞれの担当では各幹事が活躍しております。

最後に

本年度幹事団のメンバーはつぎの通りです。幹事会へのご支援、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

幹事長 (南甲) 樺澤 聡

副幹事長 (南甲) 石橋 良規〔庶務・総会・例会・相談役〕

(P A) 伊東 忠重〔会計・会報・ホームページ〕

(春秋) 木戸 良彦〔協議(8月まで)・新年会・旅行・規約〕

(無名) 香原 修也〔協議(7月から)・政策・慶弔・ボーリング・テニス・ゴルフ〕

(稲門) 鈴木 俊之〔研修・広報〕

幹事 (南甲) 川村 武 津田 理

(P A) 石渡 英房 吉田 みさ子

(春秋) 高城 貞晶 神谷 健太郎

(無名) 須田 元也 竹山 尚治

(稲門) 角田 朗 倉持 誠

組織と活動

副幹事長 石 橋 良 規

I. 日弁役員

幹事会

幹事長 (南甲) 樺澤 聡
副幹事長 (南甲) 石橋 良規〔庶務・総会・例会
・相談役〕
(P A) 伊東 忠重〔会計・会報・ホー
ムページ〕
(春秋) 木戸 良彦〔新年会・旅行・規約〕
(無名) 香原 修也〔政策・慶弔・ボー
リング・テニス・
ゴルフ〕
(稲門) 鈴木 俊之〔研修・広報〕
幹事 (南甲) 川村 武 津田 理
(P A) 石渡 英房 吉田 みさ子
(春秋) 高城 貞晶 神谷 健太郎
(無名) 須田 元也 竹山 尚治
(稲門) 角田 朗 倉持 誠

会計監事 (春秋) 有原 幸一
(無名) 高松 俊雄

II. 日弁委員会

1. 政策委員会 (担当副幹事長 香原 修也)

政策委員長 (無名) 水野 勝文
副委員長 (南甲) 金本 哲男
(P A) 藤谷 史朗
(春秋) 長濱 範明
(無名) 鶴目 朋之
(稲門) 高橋 英樹
委 員 (南甲) 染谷 伸一 中村 仁
(P A) 福田 伸一 萩原 康司
(春秋) 磯貝 克臣 出野 知
(無名) 竹山 尚治 久松 洋輔
(稲門) 吉田 正義 貝塚 亮平

2. 協議委員会 (担当副幹事長 香原 修也)

協議委員長 (春秋) 清水 善廣
副委員長 (南甲) 河野 哲
(P A) 福田 伸一
(春秋) 橋本 清
(無名) 鈴木 一永
(稲門) 飯塚 義仁
委 員 (南甲) 瀧野 文雄 河野 生吾
林 剛史
(P A) 板垣 忠文 野上 晃
(春秋) 紺野 昭男 岩永 和久
(無名) 須藤 雄一 齊藤 康
(稲門) 細田 浩一 菅原 峻一

3. 研修委員会 (担当副幹事長 鈴木 俊之)

研修委員長 (稲門) 小西 恵
委 員 (南甲) 小川 雅也 藤沢 昭太郎
(P A) 市原 政喜 渡邊 伸一
(春秋) 石津 緑 黒崎 文枝
(無名) 高田 伸一
(稲門) 志摩 美裕貴

4. 規約委員会 (担当副幹事長 木戸 良彦)

休会の予定

5. 会報委員会 (担当副幹事長 伊東 忠重)

会報委員長 (P A) 坂本 智弘
委 員 (南甲) 川村 武
(P A) 野田 薫央 小野 暁子
(春秋) 大澤 豊 荒木 邦夫
(無名) 坂次 哲也 片岡 憲一郎
(稲門) 高橋 政治 大國 寿香

6. ホームページ委員会 (担当副幹事長 伊東 忠重)

HP委員長 (P A) 林 篤史
委 員 (南甲) 津田 理
(P A) 岩見 晶啓
(春秋) 山崎 貴明
(無名) 山田 勉

(稲門) 中野 寛也

岩壁 冬樹

(無名) 高橋 俊一

(稲門) 西村 公芳

7. 広報委員会 (担当副幹事長 鈴木 俊之)

休会の予定

2. 常議員会

1 年度 (南甲) 金田 周二 長谷部善太郎

海田 浩明

(P A) 福田 賢三 佐々木 定雄

板垣 忠文 金井 健

(春秋) 杉本 ゆみ子 早川 裕司

上杉 浩 川崎 典子

(無名) 矢崎 和彦 米山 尚志

(稲門) 岡崎 信太郎

2 年度 (南甲) 川口 光男 高橋 大典

石井 茂樹 瀧野 文雄

(P A) 高橋 誠一郎 野上 晃

穂坂 道子 村田 実

(春秋) 吉田 維夫 岩壁 冬樹

松尾 誠剛 豊崎 玲子

大澤 豊

(無名) 小島 高城郎

(稲門) 榎本 英俊

3. 監事会

1 年度 (南甲) 野本 陽一

(春秋) 茂泉 修司

(稲門) 牛木 護

2 年度 (P A) 一色 健輔

(春秋) 小泉 雅裕

(無名) 菅原 修

III. 日弁相談役会 (担当副幹事長 石橋 良規)

常任相談役 (南甲) 幸田 全弘

(P A) 浅村 皓

(春秋) 佐藤 辰彦

(無名) 下坂 スミ子

(稲門) 稲木 次之

相談役 (南甲) 瀧野 秀雄 樺澤 襄

高橋 三雄 野本 陽一

久保 司 榎原 史生

(P A) 岡部 正夫 秋沢 政光

田中 正治 村木 清司

谷 義一 大西 正悟

岡部 譲

(春秋) 奥山 尚男 佐藤 一雄

篠原 泰司 竹内 三郎

笹島 富二雄 波多野 久

奥山 尚一 清水 善廣

(無名) 鈴木 正次 筒井 大和

(稲門) 石山 博

IV. 日本弁理士会役員

1. 執行役員

会 長 (春秋) 奥山 尚一

副会長 (南甲) 吉井 剛

(P A) 井出 正威

(春秋) 西出 眞吾

(稲門) 杉村 純子

執行理事 (南甲) 石井 茂樹 和田 祐造

(P A) 村田 実

(春秋) 杉本 ゆみ子 長濱 範明

以上

平成23年度 総会承認事項

副幹事長 石 橋 良 規

第1回総会

日時：平成23年4月26日（火）午後6時30分

会場：弁理士会館 2階A、B会議室

（1）平成22年度日弁事業報告の承認を求める件
樺澤聡幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

（2）平成22年度日弁決算報告の承認を求める件
伊東忠重副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

（3）平成23年度事業計画の承認を求める件
樺澤聡幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

（4）平成23年度予算の承認を求める件
伊東忠重副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

（5）平成24年度日本弁理士会役員推薦
および平成23年度日弁役員選任の承認を求める件
樺澤聡幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

平成23年度日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修担当副幹事長 鈴 木 俊 之

平成23年度日本弁理士クラブの研修会は、開催順にご紹介すると、日弁旅行会における研修会と特定侵害訴訟代理業務試験対策の研修会とを実施いたしました。

1. 研修委員会メンバー（敬称略）

研修委員長 （稲門）小西 恵

委 員 （PA）市原 政喜、渡邊 伸一

（春秋）石津 縁、黒崎 文枝

（南甲）小川 雅也、藤沢 昭太郎

（無名）高田 伸一

（稲門）志摩 美裕貴

2. 日弁旅行会における研修会

日弁の旅行会において研修会を開催いたしました。本年度は、平成23年度日本弁理士会会長の奥山尚一先生に講師をお願いし、会務ご多忙の中を縫っておいでいただきました。多数の先生方のご参加をいただき、盛況に開催することができました。

日時：平成23年6月18日（土） 15:00～16:30

講師：平成23年度日本弁理士会会長

奥山 尚一 先生

演題：米国特許法改正案

会場：岐阜グランドホテル 鳳凰の間

3. 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会

今年度も、例年と同様、特定侵害訴訟代理業務試験対策の研修会を開催いたしました。

（1）過去問解析講座

講師：弁護士、弁理士 石神恒太郎先生

（青和特許法律事務所）

・7月5日（火）市ヶ谷 自治労会館

①特定侵害訴訟代理業務試験のポイント

（侵害訴訟の要件事実について）

②平成17年度第1問解説

- ・ 7月19日（火） 弁理士会館
平成19年度第1問、第2問解説
- ・ 7月26日（火） 市ヶ谷 自治労会館
平成21年度第1問、第2問解説
- ・ 8月2日（火） 弁理士会館
平成22年度第1問、第2問解説
- ・ 8月9日（火） 市ヶ谷 自治労会館
①平成17年度第2問解説
②過去問の傾向と試験対策

受講者数：約90人

（2）模擬試験（全て家の光会館で開催）

講師：弁護士、弁理士 坂田洋一先生
（小林・弓削田法律事務所）

- ・ 9月13日（火） 特許法関連模擬試験1問
- ・ 9月20日（火） 商標・不正競争防止法関連模擬試験1問
- ・ 10月4日（火） 小問、第1・2回の模擬試験結果講評 等

受講者数：約65名

最後に、各研修会において精力的に活動されている、小西委員長及び各研修委員のみなさま、及び、前年度研修委員長である中野圭二先生に厚く御礼申し上げます。

以上



平成23年度 日本弁理士クラブ 予算の紹介

会計担当副幹事長 伊 東 忠 重

前年度の会長選挙の影響もあり、本年度は前年度からの繰越金が減少しました。しかしながら、来年度予想される会長選挙のために十分な資金を確保すべく、本年度は緊縮予算で対応するというのが、本年度の予算の趣旨です。

（単位：円）

収入の部

前年度会計からの繰越金

（繰越金＋次年度活動準備金）

（ ）

その他

各クラブ分担金

合 計

支出の部

例会・総会

幹事会

会報委員会

協議委員会

政策委員会

規約委員会

HP委員会

研修委員会

相談役会

旅行会

旅行会ゴルフ大会補助

新年会

ボウリング大会補助

テニス大会補助

庶務

慶弔費

渉外・交通

幹事長渉外費

予備費

次年度活動準備費

合 計



平成23年度 日本弁理士クラブ 政策委員会中間報告

政策委員長 水 野 勝 文

1. 委員会の構成

平成23年度日弁政策委員会は、以下のメンバーにより構成されています。また、担当副幹事長は香原修也先生（無名）です。

委員長	水野 勝文（無名）
副委員長	長濱 範明（春秋）
	藤谷 史朗（P A）
	金本 哲男（南甲）
	鶴目 朋之（無名）
	高橋 英樹（稲門）
委員	磯貝 克臣（春秋）
	出野 知（春秋）
	萩原 康司（P A）
	福田 伸一（P A）
	染谷 伸一（南甲）
	中村 仁（南甲）
	竹山 尚治（無名）
	久松 洋輔（無名）
	貝塚 亮平（稲門）
	吉田 正義（稲門）

2. 諮問事項

平成23年度の政策委員会への諮問事項は以下の通りです。

- （1）日本弁理士クラブとしての中長期ビジョンの検討
- （2）日本弁理士会執行部に対する政策面のサポート
- （3）日本弁理士会執行部からの検討依頼事項への対応

3. 開催状態

第1回委員会（拡大）	4月4日（月）
第2回（拡大）相談役会	8月29日（月）

4. 委員会活動

まず、委員会の立ち上げに先立ち、2月14日に、日本弁理士会（弁理士会）の調査室規則改正および弁理士会の時限的会費値下げについて、日本弁理士クラブ（日弁）所属の各会派から意見徴収を行い、その結果を樺澤聡幹事長に報告しました。

また、第1回の委員会は、弁理士会の奥山尚一会長および西出眞吾副会長、日弁の樺澤聡幹事長、各副幹事長、各幹事、および日弁所属の各会派幹事長にもご出席頂き、4月4日に出席者を拡大した形で実施しました。

当日の委員会においては、奥山会長から、弁理士会の時限的会費値下げなどの収支予算の適正化に関する事項を含む、平成23年度の弁理士会事業計画についてご説明を頂きました。続いて、その事業計画に対して、他の出席者から質疑応答などが行われました。本年度の弁理士会における政策のうち、収支予算の適正化、特に会費の値下げは非常に重要な意義を有する事項であるため、出席者の間で活発な意見交換が展開されました。

6月30日には、弁理士会から日弁への要望に基づき、弁理士法改正に関する見直し項目について、メールによる意見の聴取を行いました。当該聴取の結果は、各会派から出された意見とも集約し、樺澤幹事長および水野の連名にて弁理士会へ回答書として提出致しました。

これに関連して、8月29日開催の日弁相談役会（政策委員長、政策副委員長も参加）において、執行役員会より、弁理士法改正に関するタイムスケジュールが説明されたところであります。

本年度、弁理士会の会員数は約9千人となりましたが、会員数の増加に伴い、会派活動への興味が少ない無会派層が多く含まれるようになってきております。さらに、この無会派層の中には、弁理士会における会務に対してまでも興味が少ない者が増えつつある点も否めません。一方で、知的財産制度の発展、弁理士の地位向上、弁理士会における会員へのサポートの一層の拡充などに対するさらなる要求が年々高まっており、その結果弁理士会の活動範囲も多岐にわたっています。

このような状況の下、各会派や日弁のような、政策面や活動面で弁理士会を支えるための組織の存在は欠くことができません。

政策委員会は、執行役員会からの期待に答え、弁理士会の政策や日弁の活動を支えていけるような、より充実した検討をしていきたいと考えています。

以上

旅行会報告

旅行会担当副幹事長 木戸 良彦

平成23年度の旅行会は、6月19日（土）から20日（日）にかけて、岐阜長良川温泉「岐阜グランドホテル」にて開催されました。

本年度は東日本大震災の影響もあり、旅行会の中止も検討されたのですが、こういう時期だからこそ、自粛ムードに沈むのではなく、被災者の方々に配慮しつつも、我々を含めて日本全体を元気づける意味を込めて、開催することとしました。

なお、電力事情等の問題や、近畿、東海地区からのアクセス等を考慮しまして、中部地区である岐阜での開催に決定しましたが、長良川といえば、1300年の歴史をもつ伝統的な漁法「鵜飼」が有名であります。普段の旅行会とは異なる趣向になるように、日弁で船を貸し切って、目の前で鵜飼を見学しながらの宴会を企画いたしました。

当日は、あいにくの雨模様でありましたが、日本弁理士会正副会長会から7名、西日本弁理士クラブ、弁理士クラブ、弁理士同友会の各会派からも多数の方にご参加いただき、総勢72名での旅行会となりました。

【研修会】

日弁旅行会では恒例となっております研修会を今年は開催いたしました。「米国特許法の改正動向」を研修テーマにし、日本弁理士会会長の奥山尚一先生にご講演いただきました。

お忙しい中会長自らが講演いただくということもあって、多数の方にご参加いただきました。



【宴会】

研修会終了後は、温泉で日頃の疲れをとっていたから、再集合となりました。本年度は船での宴会ということで、出船時間に遅れますと宴会自体

平成23年春 叙勲・褒章受章者

叙勲者のうち旭日章

旭日双光章 高橋 祥泰

旭日双光章 木戸 一彦

叙勲者のうち瑞宝章

瑞宝小綬章 古宮 一石

（敬称略）



に参加できなくなってしまうことから、皆様早めにご集合いただけた模様です。

本来であれば、乗船する河原での集合写真撮影の予定でしたが、小雨が降っておりましてので、まずはホテル内で集合写真を撮影してから乗船場に。2隻に分かれて乗船し、20分ほど上流に移動し、お待ちかねの宴会の開始です。



樺澤聡日弁幹事長の挨拶に始まり、来賓を代表して奥山尚一日本弁理士会会長からご挨拶を頂戴し、浅村皓日弁常任相談役の音頭による乾杯の後、歓談へと移りました。本来であれば、各会派の来賓の先生方からもご挨拶をお願いすべきところでしたが、宴会の大半が鵜飼見学に取られてしまうため、時間の関係からご遠慮いただきました。



鵜飼が始まるまでの間が食事と歓談の時間になるわけですが、今回は船での宴会ということで、参加



者があまり席を移動したりすることはできませんでした。その分、岐阜の綺麗どころのコンパニオン

にお酌してもらい、脇を通る「踊り船」を眺めながらの船上宴会は、ちょっとした“海賊”気分も味わえました。

歓談の時間が終わると、合図の花火が鳴ってよいよ鵜飼見学です。宴会をしている屋形船は我々を含めかなりの数がありますが、鵜飼舟は6隻しかないの、屋形船5隻が1グループになって1隻の鵜飼舟と一緒に下ります。鵜匠が10羽ぐらいの鵜を操り、目の前でどンドン鮎を獲っていくのは、迫力がありました。

さて、下流まで戻ってくると、屋形船は再び全隻集まって停泊。鵜飼舟が横に連なっていっぺんに鮎を獲る「総ざらい」を見物して、その後、乗船場に戻り、宴会は無事お開きとなりました。

【二次会・三次会】

日弁旅行会の夜は、まだまだ続きます。ホテルに戻ってきて、カラオケサロンで二次会となりました。カラオケも恒例？の各派幹事長対抗歌合戦をはじめ、皆様自慢の歌声を披露され、大変盛り上がっていただきました。



二次会の勢いそのままに、三次会へと多くの人が流れていきました。宿泊するのとは別に広い部屋を確保し、お酒とつまみ（夜食のためのカップラーメン等）をたっぷりと準備しておきました。また、地元岐阜に事務所を構える恩田誠先生から地酒の差し入れもあり、熱気むんむんの状態でワイワイガヤガヤと遅くまで盛り上がっておりました。

その後は、部屋で飲み続けたり、柳ヶ瀬の街に飲み場に繰り出す人もいたりしたようですが、筆者の記憶ももはや曖昧で無事に三次会が終わったのかどうか・・・。

翌日、ゴルフ大会に参加していると、皆様無事にチェックアウトされたという報告があり、一安心したのが思い出されます。

以上



平成23年度 日弁ゴルフ大会 報告

ゴルフ大会担当副幹事長 香 原 修 也

今年度の大会は、6月18日から一泊二日で催された日弁旅行会（於、岐阜県長良川温泉）に併せ、愛知県春日井市にある「オールドレイクゴルフ倶楽部」にて開催致しました。ホテルからの移動には一時間弱かかりましたが、バスによる移動でしたので、普段のゴルフよりもむしろ楽に感じるくらいでした。睡眠なしの宴会明けゴルフを恐れる必要は無いのかもしれないですね（！）

申込み時点では32名8組の大所帯でしたが、その後（及び前日）に色々あり、結果として総勢27名がOUT4組・IN3組の2ウェイに分かれ、白球と戯れることになりました。

当日は雨も降っておらず天気は上々。ちょっと湿度が高かったようですが、まずまずのコンディションではなかったでしょうか。クラブハウスも大変美しく、その名の通り風光明媚なコースであったと思います。

特徴的だったのは、通常は4つしかないショートホール（Par3）が全部で「5つ」あったこと（当日まで見逃しており幹事失格）。Par72でしたので気づかなかったのです（つまりロングホールも5つ）。その後、小生の知り合いの知り合いが同コースでホールインワンを達成したと聞き、「ショートの増加で確率も上がるのか？」と感じた次第です。

さて肝心の競技結果ですが、主な受賞者は次のとおりです（敬称略にて記させて頂きます）。

〈順位〉	〈氏名〉	〈グロス〉〈ネット〉
・優勝	山本 宗雄（西日本）	89 72.2
・準優勝	中島 三千雄（南甲）	83(※) 73.4
・3位	黒田 壽（弁ク）	88 73.6
・5位	木戸 良彦（春秋）	90 74.4
（8位）	樺澤 聡（日弁幹事長）★	75.4
・10位	伊藤 英彦（西日本）	89 75.8(CB)
・BB	竹山 尚治（無名）	106 85.6

・ドラコン及びニヤピン

申し訳ありません。記録を失念し報告ができません（小生がドラ一本頂いたような気がします。お許し下さい）。

（※：ベストグロス賞を兼ねる）

（CB：18番ホールのカウントバック形式により決定）

「賞品」は「ご当地の食べもの」限定で、本数少なめ・金額も低めでもお願いしましたが、ゴルフ場をご用意下さったのは優勝～5位、及びベストグロス賞の全てが「飛騨牛」がらみ。その他の賞も地元の歴史あるハム屋さん（明宝ハム様）の逸品ばかりを揃えて頂きました。コース支配人の横山様、誠に有り難うございました。

皆さま、飛騨牛関連商品はご満足頂けましたでしょうか。特に牛ダブルゲットの準優勝中島先生…羨ましい限りです。

それにしても、さすがは幹事長ですね。重賞をちゃんとゲストにあたる先生方に配分し、自らは飛び賞なし（参加賞のみ）で見事にホスト役を演じきっております。これは狙ってできることではありません。次回は自由に上位を狙って下さい。

といった感じで、本年のゴルフ大会も無事終わることができました。関係者の皆さまにはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

了



＜上位入賞者の先生方＞
左から中島先生（準優勝）、山本先生（優勝）、黒田先生（3位）